

IP リモートコントローラー

設定ソフトウェア RM-IP10 Setup Tool ガイド
ソフトウェアバージョン 1.1.0

目次

はじめに	3
PC の準備をする	3
カメラ、IP リモートコントローラーの設定をする	3
カメラの設定をする	4
IP リモートコントローラーの設定をする	5
カメラテーブルを作成する	7
その他	9
設定内容のログを保存する	9
ソフトウェアを削除する	9
ファイアウォールを設定する	9
Windows 7 をご利用の場合	9
Windows Vista をご利用の場合	11

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよびユーザーガイドの内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

©2012 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で ®、TM マークは明記しておりません。

はじめに

本書は IP 接続された IP リモートコントローラー、カメラを設定するためのツールである設定用ソフトウェア RM-IP10 Setup Tool の取扱説明書です。

操作の前に、IP リモートコントローラーの取扱説明書または「IP コントロールオプション操作ガイド」をご覧ください。なって、IP リモートコントローラー、カメラを正しく接続してください。

PC の準備をする

IP リモートコントローラーやカメラの設定は、同一ネットワーク内に IP 接続された PC から設定用ソフトウェア RM-IP10 Setup Tool を使って行います。設定の前に以下の準備をします。

- 1 PC をネットワークに接続する。
接続について詳しくは、IP リモートコントローラーの取扱説明書の「IP カメラとの接続」をご覧ください。
- 2 PC のネットワーク設定を行う。
IP リモートコントローラーやカメラを使用するネットワークと同じ設定としてください。
- 3 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM に収録されている index.html ファイルを開く。
自動的に表示される場合もあります。
- 4 Setup Program の RM-IP10SetupTool アイコンをクリックする。
画面指示に従い「RM-IP10SetupTool.exe」を PC の任意のフォルダにコピーしてください。

ご注意

異なるセグメントに接続されている IP リモートコントローラーやカメラを設定する場合は、PC をそのセグメントに接続してください。

カメラ、IP リモートコントローラーの設定をする

IP 接続されたカメラや IP リモートコントローラーに名前と IP アドレスを設定します。

カメラや IP リモートコントローラーを IP 接続し、IP リモートコントローラーからカメラを操作するには、カメラ、IP リモートコントローラーに IP アドレスを割り当てる必要があります。

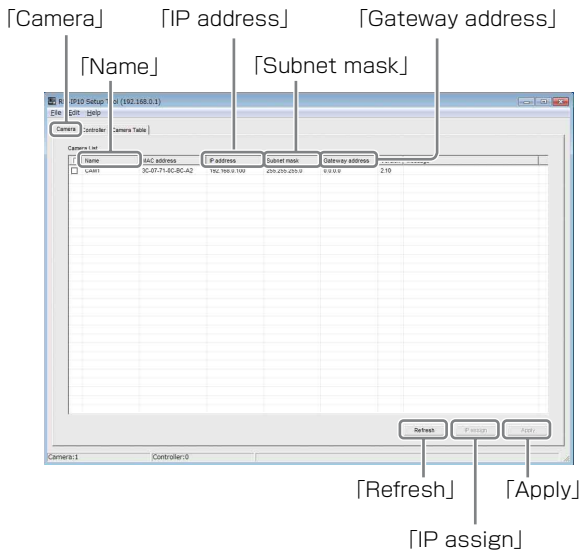
初めてカメラや IP リモートコントローラーを設置したとき、または新しくカメラや IP リモートコントローラーを接続した場合は、この設定を行ってください。

ご注意

- ・ お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォールソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、RM-IP10 Setup Tool が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- ・ Windows XP Service Pack 2 以降、Windows Vista、または Windows 7 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を [無効] にしないと RM-IP10 Setup Tool が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows Vista をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(11 ページ)、または「Windows 7 をご利用の場合 - Windows ファイアウォールの設定について」(9 ページ) をご覧ください。

カメラの設定をする

- 1 IP リモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。
- 2 RM-IP10 Setup Tool を起動し、「Camera」タブをクリックする。
「Camera List」画面が表示され、IP 接続されたネットワーク上に接続されているカメラを検出して、画面上にリスト表示します。



「Mac address」は機器固有のアドレスで変更できません。

ヒント

- ・ IP 接続されているカメラの台数とリストに表示された台数が異なる場合は、「Refresh」をクリックして画面を更新してください。
- ・ カメラの Mac address は IP コントロールカード BRBK-IP10 または BRBK-IP7Z のパネル左下に表示されています。

ご注意

- ・ 台数が一致しない場合は、IP リモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください、カメラの接続を確認してください。
- ・ 起動時に「ユーザアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「許可」をクリックしてください。
- ・ 異なるセグメントに接続されているカメラは検出できません。
- ・ 異なるセグメントのカメラへ設定をするときは、PC をそのセグメントに接続してください。

- 3 カメラの名前を設定する。
「Name」にカメラの名前を入力します。
カメラの名前は、カメラテーブル作成時に使用します。また、後で設定を変更する場合に、特定しやすい名前にしておくと便利です。

ヒント

カメラの名前には以下の文字が使用できます（最大8文字まで）。

スペース、!#\$%&'()*+-. / 0123456789;
<=>?@ABCDEFGHIJKLMN OPQRS
TUVWXYZ [¥]^_`abcdefghijklmnop
qrstuvwxyz{|}

- 4 IP アドレスを設定する。
 - ・ 「IP address」に IP アドレスを入力します。
 - ・ 「Subnet mask」にサブネットマスクの値を入力します。
 - ・ 「Gateway address」にデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

ご注意

- ・ カメラの名前や IP アドレスなどを変更したカメラには、左端のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っている設定は、手順5で「Apply」をクリックすると反映することができます。「Apply」をクリックする前に IP アドレスを自動で割り当てたりすると、設定が書き換わってしまいますのでご注意ください。
- ・ 「Subnet mask」「Gateway address」の入力は、BRBK-IP10/IP7Z のファームウェアバージョン 2.1 以上で対応しています。

- 5 入力が終わったら「Apply」をクリックする。
チェックが入っている設定がカメラに反映されます。

- 6 「Refresh」をクリックする。
最新の設定を反映した画面を表示します。

ご注意

「Apply」実行後、レポート処理が入ります。カメラがレポートして映像が出力するまでは「Apply」をクリックしないでください。「Apply」クリックしてから約 10 秒後に「Refresh」をクリックしてください。

ヒント

複数のカメラを接続していて、設定したいカメラが分かりづらい場合は、以下の方法をお試しください。

1. 設定したいカメラ 1 台のみ電源を入れる。

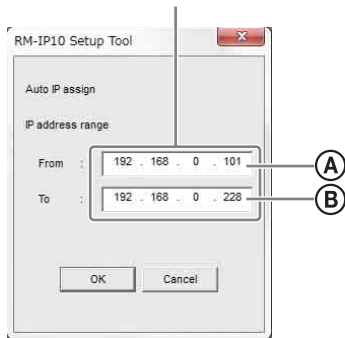
2. 「Camera List」画面の「Refresh」をクリックする。
電源が入っているカメラのみリストで表示されます。
3. カメラの設定をする。
4. 手順1～3を繰り返し、他のカメラの設定をする。

IPアドレスを自動で割り当てるときは

複数のカメラを同時に設定したい場合など、IPアドレスを自動で割り当てることができます。

IPアドレスを自動で割り当てたいカメラの左端のチェックボックスにチェックを入れ、「IP assign」をクリックし、「Auto IP assign」画面でIPアドレスの範囲を入力し「OK」をクリックします。

IPアドレスを入力します。



指定した範囲内のIPアドレス (A～B) がチェックの入ったカメラに自動的に割り当てられます。その後、「Apply」をクリックして設定を反映します。設定をやめる場合は、「Cancel」をクリックします。

ご注意

カメラの台数が指定した範囲のIPアドレス数より多い場合、IPアドレスが自動で割り当てられないカメラが発生します。この場合「Apply」をクリックした後、自動割り当てができなかったカメラ左端のチェックボックスにチェックを入れ、再度IPアドレスの自動割り当てを行ってください。

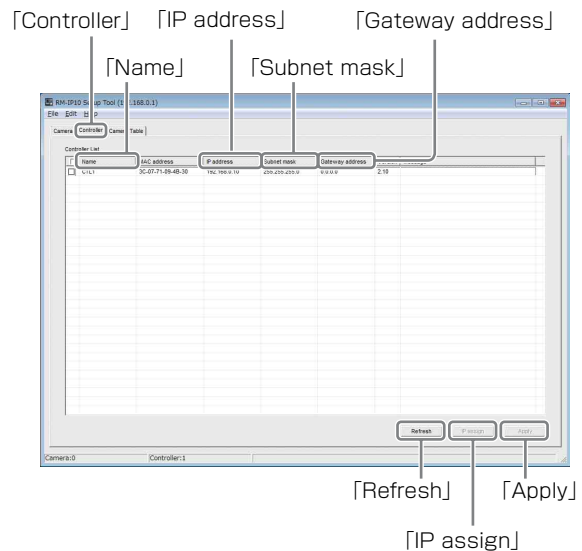
IPリモートコントローラーの設定をする

- 1 IPリモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。

ご注意

IPリモートコントローラーRM-IP10の設定を更新するには、底面DIPスイッチ2の8番をON（設定更新モード）にしてから電源を入れてください。詳しくはIPリモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 2 RM-IP10 Setup Toolを起動し、「Controller」タブをクリックする。「Controller List」画面が表示され、IP接続されたネットワーク上に接続されているIPリモートコントローラーを検出して、画面上にリスト表示します。



「Mac address」は機器固有のアドレスで変更できません。

ヒント

- ・ IP接続されているIPリモートコントローラーの台数とリストに表示された台数が異なる場合は、「Refresh」をクリックして画面を更新してください。
- ・ IPリモートコントローラーのMac addressは本体底面に表示されています。

ご注意

- ・ 台数が一致しない場合は、IPリモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。IPリモートコントローラーの接続を確認してください。

- ・ 起動時に「ユーザアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「許可」をクリックしてください。
- ・ 異なるセグメントに接続されている IP リモートコントローラーは検出できません。
- ・ 異なるセグメントの IP リモートコントローラーへ設定をするときは、PC をそのセグメントに接続してください。

3 IP リモートコントローラーの名前を設定する。

「Name」に IP リモートコントローラーの名前を入力します。

IP リモートコントローラーの名前は、カメラテーブル作成時に使用します。また、後で設定を変更する場合に、特定しやすい名前にしておくと便利です。

ヒント

IP リモートコントローラーの名前には以下の文字が使用できます（最大 8 文字まで）。

スペース、! # \$ % & ' () * + - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ;
< = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S
T U V W X Y Z [\] ^ _ ` a b c d e f g h i j k l m n o
p q r s t u v w x y z { | }

4 IP アドレスを設定する。

- ・ 「IP address」に IP アドレスを入力します。
- ・ 「Subnet mask」にサブネットマスクの値を入力します。
- ・ 「Gateway address」にデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

ご注意

- ・ IP リモートコントローラーの名前や IP アドレスなどを変更した IP リモートコントローラーには、左端のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っている設定は、手順 5 で「Apply」をクリックすると反映することができます。「Apply」をクリックする前に IP アドレスを自動で割り当てたりすると、設定が書き換わってしまいますのでご注意ください。
- ・ 「Subnet mask」「Gateway address」の入力は、RM-IP10 のファームウェアバージョン 2.1 以上で対応しています。

5 入力が終わったら「Apply」をクリックする。

チェックが入っている設定が IP リモートコントローラーに反映されます。

6 「Refresh」をクリックする。

最新の設定を反映した画面を表示します。

ご注意

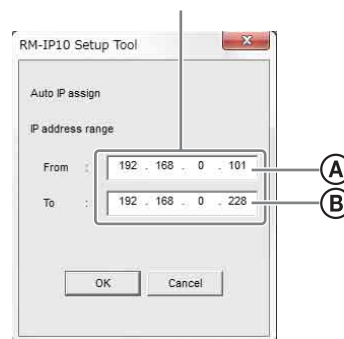
「Apply」実行後、レポート処理が入ります。

「Apply」クリックしてから約 10 秒後に「Refresh」をクリックしてください。

IP アドレスを自動で割り当てるときは

複数の IP リモートコントローラーを同時に設定したい場合など、IP アドレスを自動で割り当てることができます。IP アドレスを自動で割り当てたい IP リモートコントローラーの左端のチェックボックスにチェックを入れ、「IP assign」をクリックし、「Auto IP assign」画面で IP アドレスの範囲を入力し「OK」をクリックします。

IP アドレスを入力します。



指定した範囲内の IP アドレス (A ~ B) がチェックが入っている IP リモートコントローラーに自動的に割り当てられます。その後、「Apply」をクリックして設定を反映します。

設定をやめる場合は、「Cancel」をクリックします。

ご注意

IP リモートコントローラーの台数が指定した範囲の IP アドレス数より多い場合、IP アドレスが自動で割り当てられない IP リモートコントローラーが発生します。この場合「Apply」をクリックした後、自動割り当てができなかった IP リモートコントローラー左端のチェックボックスにチェックを入れ、再度 IP アドレスの自動割り当てを行ってください。

カメラテーブルを作成する

IP リモートコントローラーから操作するカメラを選ぶ場合、グループ番号を選んでから、グループ内のカメラ番号を選んでカメラを特定します。ここでは、グループ、カメラ番号にカメラを割り当てて、カメラテーブルを作成します。

グループは 16 あり、各グループは 7 台のカメラで構成されます。カメラテーブルは各 IP リモートコントローラーごとに設定します。

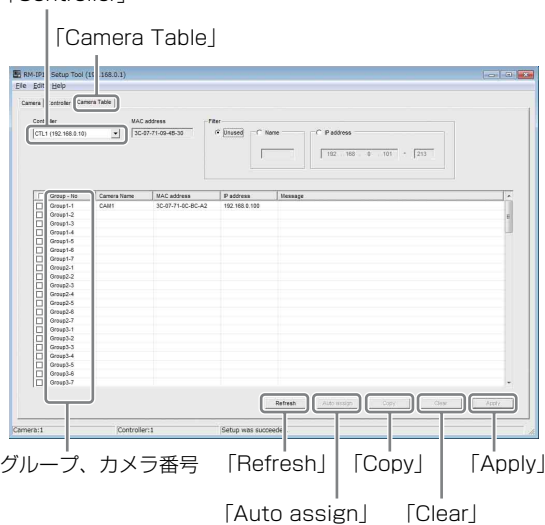
- 1 IP リモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。

ご注意

IP リモートコントローラー RM-IP10 の設定を更新するには、底面 DIP スイッチ 2 の 8 番を ON (設定更新モード) にしてから電源を入れてください。詳しくは IP リモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 2 RM-IP10 Setup Tool を起動し、「Camera Table」タブをクリックする。
「Camera Table」画面が表示されます。

「Controller」

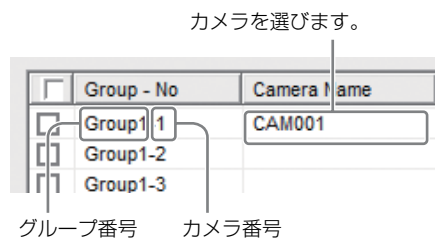


- 3 IP リモートコントローラーを選ぶ。
「Controller」下の枠をクリックすると、「IP リモートコントローラーの設定をする」(5 ページ)で設定した IP リモートコントローラーの名前がポップアップ表示されますので、カメラテーブルを設定したい IP リモートコントローラーを選びます。

ご注意

- 異なるセグメントに接続されている IP リモートコントローラーは選択できません。
- 異なるセグメントの IP リモートコントローラーへ設定をするときは、PC をそのセグメントに接続してください。
- IP リモートコントローラーの名前が正しくポップアップ表示されないときは、一度「Controller」タブをクリックして「Controller List」画面を更新してください。

- 4 グループ、カメラ番号右の枠でカメラを選ぶ。
割り当てたいグループ、カメラ番号右側の枠をクリックすると、「カメラの設定をする」(4 ページ)で設定したカメラの名前がリスト表示されますので、その番号に割り当てたいカメラを選びます。



手順 4 の操作を繰り返して、すべてのカメラを割り当てます。

ご注意

- グループ、カメラ番号を変更したカメラには、左端のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っている設定は、手順 5 で「Apply」をクリックすると反映することができます。「Apply」をクリックする前にカメラ、グループ番号を自動で割り当てたりすると、設定が書き換わってしまいますのでご注意ください。
- カメラの名前が正しくリスト表示されないときは、一度「Camera」タブをクリックして「Camera List」画面を更新してください。

- 5 正しく入力されていることを確認してから [Apply] をクリックする。
チェックが入っている設定が反映されます。

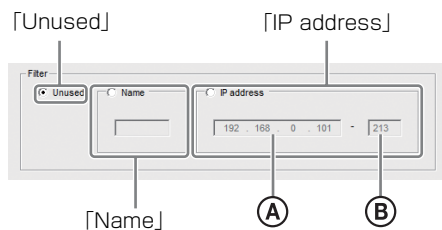
- 6 [Refresh] をクリックする。
現在の設定を反映した画面を表示します。

ご注意

「Apply」実行後、リブート処理が入ります。「Apply」クリックしてから約 10 秒後に「Refresh」をクリックしてください。

特定のカメラのみリスト表示されるようにするには

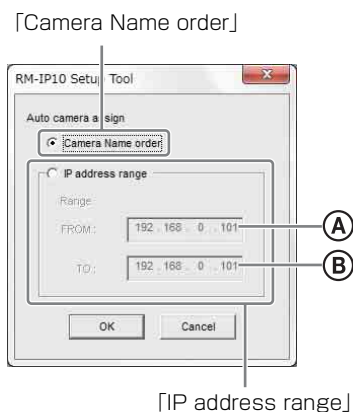
複数のカメラを接続している場合、カメラを選びやすいように特定のカメラのみリスト表示することができます。画面上部右側で設定します。



- ・「Name」にチェックを入れ名前を入力すると、その名前を含むカメラのみリスト表示します。
- ・「IP address」にチェックを入れ IP アドレスを入力すると、指定した範囲内の IP アドレス (A ~ B) のカメラのみリスト表示します。
- ・「Unused」にチェックを入れると、すべてのカメラをリスト表示します。

カメラを自動的にグループ、カメラ番号に割り当てるには

「Auto Assign」をクリックします。



- ・「Camera Name orderj」にチェックを入れると、「Camera List」で設定したすべてのカメラにグループ、カメラ番号を割り当てます。
- ・「IP address range」にチェックを入れ IP アドレスを入力すると、指定した範囲内の IP アドレス (A ~ B) のカメラのみグループ、カメラ番号を割り当てます。

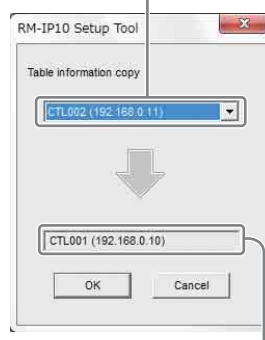
「OK」をクリックすると、自動的にグループ、カメラ番号が割り当てられます。その後、「Apply」をクリックして設定を反映します。

やめる場合は、「Cancel」をクリックします。

他の IP リモートコントローラーのカメラテーブルをコピーするには

複数の IP リモートコントローラーのカメラテーブルを作成する際、すでに作成済みのカメラテーブルをコピーして、設定の手間を省くことができます。コピーをする際は、あらかじめコピーを反映したいグループ、カメラ番号左端のチェックボックスにチェックを入れてから「Copy」をクリックします。

コピー元の IP リモートコントローラー



コピー先の IP リモートコントローラー

コピーしたいカメラテーブルの IP リモートコントローラーをリスト表示から選んで、「OK」をクリックします。コピー元から、チェックしたグループ、カメラ番号の情報が画面に表示しているカメラテーブルにコピーされます。その後、「Apply」をクリックして設定を反映します。やめる場合は、「Cancel」をクリックします。

ヒント

テーブルをすべてコピーする場合は、すべてのチェックボックスにチェックを入れてください。

ご注意

セグメントの異なる IP リモートコントローラーのカメラテーブルはコピーできません。「設定内容を保存する」(9 ページ) の「Export」「Inport」機能を使用してください。

カメラテーブルから消去するには

消去したいグループ、カメラ番号にチェックを入れ、「Clear」をクリックします。

カメラテーブルに異なるセグメントのカメラを追加するには

一時的に追加したいカメラと同じセグメントに PC、IP リモートコントローラーを接続して「カメラテーブルを作成する」(7 ページ) の手順で登録してください。異なるセグメントのカメラは黄色表示されますが、カメラテーブルから削除しないでください。

その他

設定内容を保存する

「Camera List」「Controller List」「Camera Table」で設定した内容は csv ファイルで保存することができます。

- 1 保存したい設定「Camera List」、「Controller List」または「Camera Table」画面を表示させる。
- 2 メニューバーの「File」から「Export」を選ぶ。
- 3 保存先を選んで「保存」をクリックする。

ヒント

保存した「Camera Table」は呼び出すことができます。メニューバーの「File」から「Import」を選び、呼び出したいファイルを選びます。その後、登録したいカメラの左端のチェックボックスにチェックを入れて「Apply」をクリックします。

ご注意

「Camera List」「Controller List」の Import はできません。

ソフトウェアを削除する

保存したフォルダーから「RM-IP10SetupTool」を削除して下さい。

ファイアウォールを設定する

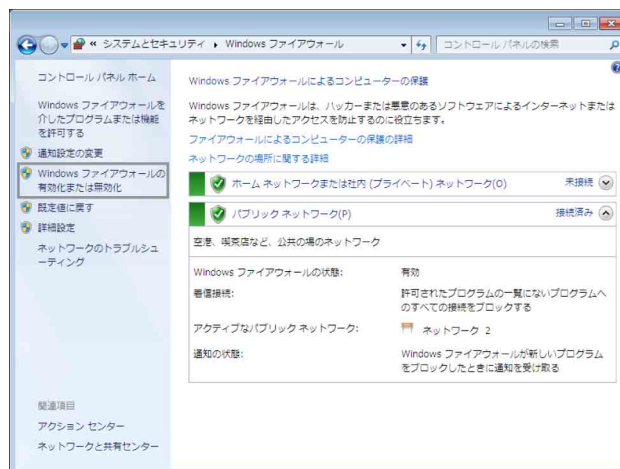
Windows 7 をご利用の場合

Windows ファイアウォールの設定について

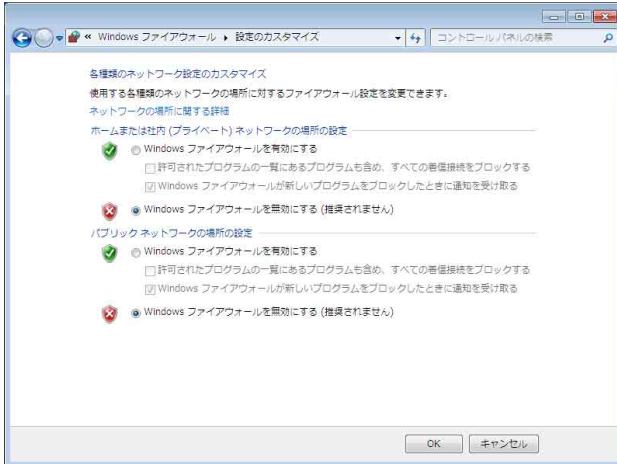
Windows ファイアウォールの設定によっては、RM-IP10 Setup Tool が正常に動作しない場合があります。(リスト上にカメラが1台も検出されないように見えます。)この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

Windows ファイアウォールを無効にしてご使用になる場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックする。



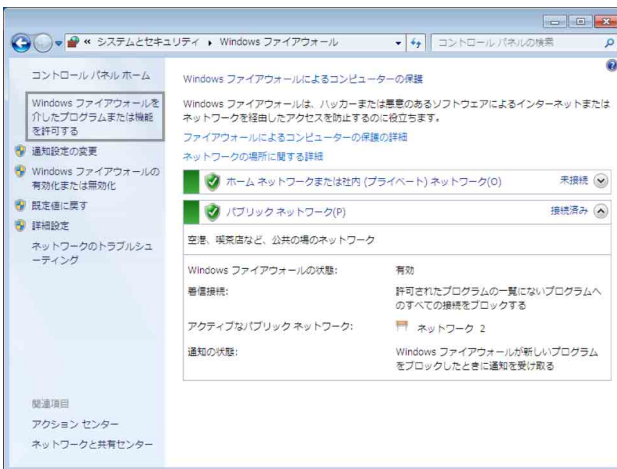
4 [Windows ファイアウォールを無効にする] を選択する。



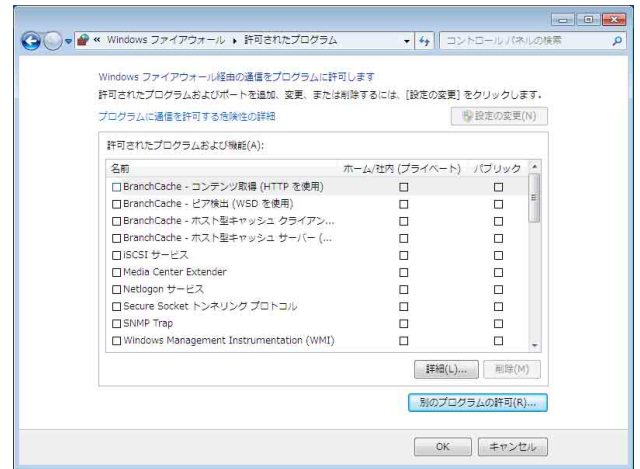
これでリスト上にカメラが表示されます。

Windows ファイアウォールを有効のままご使用になる場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックする。



4 [別のプログラムの許可] を選択する。



5 プログラムを追加する。



[参照] をクリックしてから RM-IP10SetupTool のパスを指定して [追加] をクリックします。

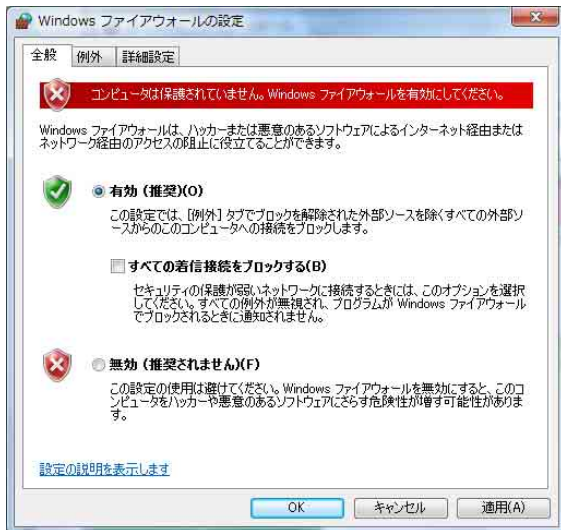
以上の設定が完了すると、RM-IP10 Setup Tool 上にローカルネットワーク上の IP リモートコントローラー、カメラが表示されます。

Windows Vista をご利用の場合

Windows ファイアウォールの設定について

Windows ファイアウォールの設定によっては、RM-IP10 Setup Tool が正常に動作しない場合があります。(リスト上にカメラが1台も検出されないように見えます。) この場合、次のように Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

- 1 Windows の [スタート] メニューから [設定]、[コントロールパネル] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」を選択する。
「ユーザーアカウント制御 (続行するにはあなたの許可が必要です)」メッセージが表示されることがあります。この場合は、「続行」をクリックしてください。
- 4 [全般] タブで [無効] を選択する。

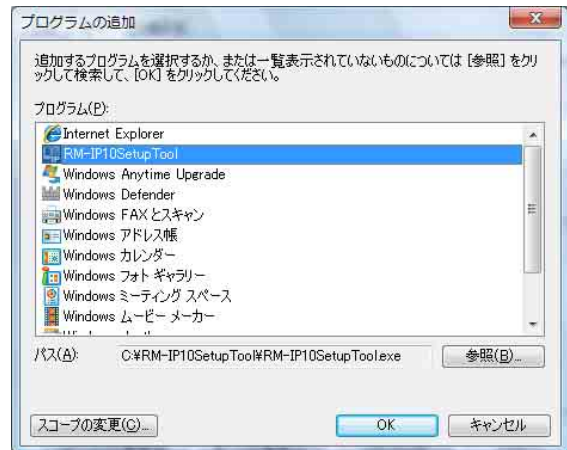


これでリスト上にカメラが表示されるようになります。

[有効] のままご使用になりたい場合は、引き続き、次の設定を行ってください。

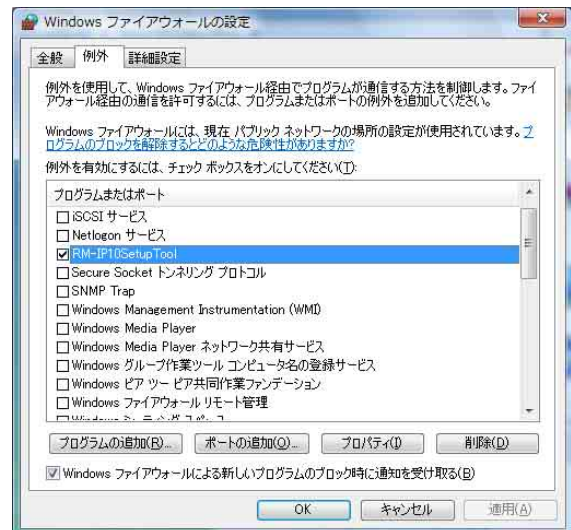
- 5 [例外] タブを選択する。
- 6 [プログラムの追加] を選択する。

- 7 プログラムの追加ダイアログが表示されたら、[参照] をクリックしてから RM-IP10SetupTool のパスを指定して [OK] をクリックする。



これで「プログラムまたはポート」リストに、選択した RM-IP10SetupTool が追加されます。

- 8 「OK」をクリックする。



以上の設定が完了すると、RM-IP10 Setup Tool 上にローカルネットワーク上の IP リモートコントローラー、カメラが表示されます。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>